

都市計画指針策定へ向かう

—南丹市都市計画マスタープラン
原案報告—

平成20年度から取り組みを進めてきた南丹市都市計画マスタープランの原案が7月15日に、南丹市都市計画マスタープラン策定委員会から提出されました。本計画は、南丹市の都市計画区域、主に市街化区域におけるまちづくりの基本的な方針を定めるものです。今後、南丹市都市計画審議会に諮問し、答申いただくなかで都市計画の基本方針となり、本計画を基に平成39年度を目標年次として都市計画事業を進めていきます。



▲原案の報告を行う垣村和男委員長(中央)と山脇惠次副委員長(左)

京都市のEPRZ拡大を受け 市の地域防災計画見直しへ

—美山町区長会で説明—

京都府が原子力発電所防災対策暫定計画を策定し、EPRZ(防災対策を重点的に充実すべき地域の圏)を20キロメートルに拡大したことに伴い、7月11日、当該範囲の一部が掛かる美山町で区長会を開催。南丹市における今後の地域防災対策などについて説明を行いました。佐々木市長は「市民の皆さんの考えておられること、心配事を踏まえた上で、これからの計画づくりを進めていきたい」と理解を求めました。



▲区民からの相談事や自分の考えを伝える区長

今は家事共同が必要な時代 家族仲良く暮らせるカタチ

—男女共同参画フォーラム—

第5回南丹市男女共同参画フォーラム「キラリなたんたん!」を、6月26日、南丹市国際交流会館で開催しました。男女約100人が参加され、「スーパー主夫」として知られる山田亮さんの講演を聴きました。山田さんは、自らの経験をもとに男性の家事自立の必要性を話され、また「人と人が支えあう『人』字型人間関係から、おのおのがまっすぐに立ち、その上で手をつないだ『M』字型人間関係を目指そう」と提言されました。



▲身の上話も交え家族仲良く暮らす秘訣を伝授する山田亮さん

カヌーの実技指導を通して 青少年の育成・交流の場を

—大堰川カヌー教室—

八木カヌーハウスには、B&G財団から無償貸与を受けたカヌーが16艇あります。今年も小学5年生以上を対象に、八木町大堰川で「カヌー教室」を開催しました。教室開催日の7月31日は、天気にも恵まれ、参加者9人がB&G海洋性レクリエーション指導員から乗り方や救命方法などの指導を受けた後、乗艇。参加者はすぐに操縦にも慣れ、みんなで大堰橋まで下るなど、真夏の水面での会話を楽しんでいました。



▲指導を受け、思い通りにカヌーを操る参加者